

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	01-02-02	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input checked="" type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区債元利償還金（一般会計）	部課名	総務企画部財政課	課長名	坂本		
		担当者名	藤田	内線	2124		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	支払、発行手数料					
	01-01-01	政府資金元利償還金					
	01-02-01	金融機構元利償還金					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 40	（ 1965 ）	年度	根拠	地方自治法第230条、地方財政法第5条		
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	（ ）	年度	法令等			
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内		<input type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために				
	政策	15	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進				
	施策	02	健全な財政運営				
目的	地方債の元利償還金の支払い。 ※地方債とは、地方公共団体が必要な財源を調達するために負担する債務であり、その償還が一般会計年度を越えて行われる長期間の借入金である。						
対象者等	財務省(財政融資資金)、(株)かんぽ生命保険(簡保資金)、(株)ゆうちょ銀行(郵貯資金)、 地方公共団体金融機構、(株)みずほ銀行、東京都、(財)東京都区市町村振興協会						
内容	○区債元利償還金：資金（借入先）ごとに定められた毎年の定時償還日に、元利償還金を支払う。 ○手数料：銀行等引受債元利償還に伴う償還手数料や発行手数料を支払う。 ○特別区債割引料：銀行等引受債や市場公募債における発行価格が額面価格を下回る場合に、額面に基づく収入金額を確保するため、差額を割引料として支払う。						
	発行実績	4年度 高齢者福祉施設整備 2億2,100万円 障害者福祉施設整備 7,200万円 保育園整備 3,900万円 学校教育施設等整備 3億9,400万円					
経過	地方債の発行に当たっては、平成18年度から都道府県知事の許可制から協議制へと移行した。 昭和40年度：昭和39年自治法改正により、特別区も起債発行が可能となった。発行事務処理の23区統一化 昭和52年度：東京都縁故債の発行条件改定後、その翌月からの適用を翌日からの適用に変更 平成7年度：特別区縁故債の発行関係手数料を東京都縁故債と同率とする。 平成10年度：東京都縁故債の繰上償還条項の削除に伴い、特別区縁故債も同条項を削除 平成14年度：平成14年4月発行分より、従来の抽せん方式にかわり満期一括償還方式(5年・10年)に改定 平成15年度：平成16年2月に荒川区として初の市場公募債を発行。銀行等引受債発行条件等について、15年度債より東京都と同一条件から23区独自条件へ変更 平成18年度：振替債の導入に基づき、手数料等の改定並びに新規記録手数料の設定 平成26年度：平成27年3月に荒川区として二回目の市場公募債を発行						
必要性	財政負担の年度間調整、世代間負担の公平を図るために必要である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 起債発行の際は、年度当初より東京都などと協議を行い、起債対象事業の内容及び事業費の精査等を行う。事業所管との連携を密にし、事業の進捗、特定財源の状況の把握を行う。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
	① 実質公債費比率(%)	-0.3	-1.4	5%未満	5%未満	5%未満	地方債元利償還額等/標準財政規模等×100
	② 1月1日現在区民1人あたりの起債残高(介護会計含む)(千円)	88	86	81	76		
③ 1日あたりの元利償還金(一般会計のみ、割引料除く)(千円)	4,750	4,802	4,959	5,536			
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
5年度	6年度						
継続	推進	安定した区政運営に不可欠である。					

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		2,048,677	1,857,481	2,260,490	1,759,524	1,775,537	1,823,570	2,021,286
決算額（5年度は見込み）		2,025,552	1,850,228	2,240,860	1,733,700	1,752,638	1,809,983	2,021,286
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名（5年度は見込み）								
起債発行額の推移(単位:百万円)		682	1,598	1,591	2,524	1,140	726	886
起債残高(単位:百万円)		18,670	18,589	18,094	19,017	18,525	17,549	16,513
予算・決算の内訳		令和3年度(決算)			令和4年度(決算)		令和5年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)		節	主な事項	金額(千円)		
償還金利息等	区債元利償還金	1,752,599		償還金利息等	区債元利償還金	1,809,944		
役務費	手数料	39		役務費	手数料	39		

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,642	1,606	▲ 36	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	88	79	▲ 9	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,730	▲ 1,685	45
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,730	1,685	▲ 45	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,730	▲ 1,685	45
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,730	▲ 1,685	45	

備考

行政費用では、給与関係費が主な費用となっている。区債の借入・償還については各起債対象事業に計上される。

問題点・課題

今後、老朽化した学校施設や本庁舎をはじめとする公共施設の改修・更新などに多額の財政負担が見込まれる。将来的な財政需要を見据えつつ、受益者負担の世代間の公平を図るといった観点からも、計画的に起債の活用を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	将来の償還に伴う財政負担に配慮しつつ、中長期的な視点に立った財政運営を行う。	年度末の決算収支や金利動向を踏まえ、起債額を適切に調整した。	将来の償還に伴う財政負担に配慮しつつ、中長期的な視点に立った財政運営を行う。
②			
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成22年2定 起債の管理について 平成23年3定 区民債の活用について 平成24年3定 市場公募債の発行について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	01-02-03		戦略プラン		<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input checked="" type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事																																												
事務事業名	基金費		部課名	総務企画部財政課		課長名	坂本																																													
			担当者名	土屋		内線	2122																																													
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	財政調整基金積立金																																																		
	01-01-01	介護保険給付準備基金積立金																																																		
	01-02-01	特別区債等管理基金積立金																																																		
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業																																															
開始年度	昭和 50	（ 1975 ）	年度	根拠	各基金条例																																															
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	（ ）	年度	法令等																																																
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画																																														
行政評価事業体系	分野	VII 計画推進のために																																																		
	政策	15 目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進																																																		
	施策	02 健全な財政運営																																																		
目的	①特定の目的のために財産を維持し、資金の積立を行う。 ②年度間の財源を調整し、健全な財政運営を図る。 ③大規模施設等の建設のため、財源を確保する。																																																			
対象者等																																																				
内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; border: none;">・ 財政調整基金</td> <td style="width: 10%; border: none;">21,287</td> <td style="width: 10%; border: none;">21,305</td> <td style="width: 65%; border: none;">年度間の財源の調整及び財政の健全な運営に資するため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 特別区債等管理基金</td> <td style="border: none;">4,125</td> <td style="border: none;">4,128</td> <td style="border: none;">特別区債等の償還財源の確保や特別区債等の適正管理のため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 災害対策基金</td> <td style="border: none;">1,472</td> <td style="border: none;">1,523</td> <td style="border: none;">災害の予防、応急対策及び復旧に要する経費に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 義務教育施設整備基金</td> <td style="border: none;">9,259</td> <td style="border: none;">11,719</td> <td style="border: none;">義務教育施設の整備のため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 産業振興基金</td> <td style="border: none;">729</td> <td style="border: none;">729</td> <td style="border: none;">区内産業の振興に要する資金に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 公共施設等整備基金</td> <td style="border: none;">6,119</td> <td style="border: none;">6,132</td> <td style="border: none;">区の公共用又は公用施設の整備等に要する資金に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 健康・福祉基金</td> <td style="border: none;">190</td> <td style="border: none;">190</td> <td style="border: none;">区民の健康と福祉の増進に要する資金に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ スポーツ振興基金</td> <td style="border: none;">86</td> <td style="border: none;">99</td> <td style="border: none;">スポーツの振興に資する資金に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 芸術文化振興基金</td> <td style="border: none;">95</td> <td style="border: none;">98</td> <td style="border: none;">芸術文化の振興に資する資金に充てるため。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">・ 介護保険給付準備基金</td> <td style="border: none;">1,775</td> <td style="border: none;">1,948</td> <td style="border: none;">介護保険法に規定する計画期間における財政の均衡を保つ。</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">合計（単位：百万円）</td> <td style="border: none;">45,137</td> <td style="border: none;">47,871</td> <td style="border: none;">（3年度末/4年度末/設置目的）</td> </tr> </table>								・ 財政調整基金	21,287	21,305	年度間の財源の調整及び財政の健全な運営に資するため。	・ 特別区債等管理基金	4,125	4,128	特別区債等の償還財源の確保や特別区債等の適正管理のため。	・ 災害対策基金	1,472	1,523	災害の予防、応急対策及び復旧に要する経費に充てるため。	・ 義務教育施設整備基金	9,259	11,719	義務教育施設の整備のため。	・ 産業振興基金	729	729	区内産業の振興に要する資金に充てるため。	・ 公共施設等整備基金	6,119	6,132	区の公共用又は公用施設の整備等に要する資金に充てるため。	・ 健康・福祉基金	190	190	区民の健康と福祉の増進に要する資金に充てるため。	・ スポーツ振興基金	86	99	スポーツの振興に資する資金に充てるため。	・ 芸術文化振興基金	95	98	芸術文化の振興に資する資金に充てるため。	・ 介護保険給付準備基金	1,775	1,948	介護保険法に規定する計画期間における財政の均衡を保つ。	合計（単位：百万円）	45,137	47,871	（3年度末/4年度末/設置目的）
・ 財政調整基金	21,287	21,305	年度間の財源の調整及び財政の健全な運営に資するため。																																																	
・ 特別区債等管理基金	4,125	4,128	特別区債等の償還財源の確保や特別区債等の適正管理のため。																																																	
・ 災害対策基金	1,472	1,523	災害の予防、応急対策及び復旧に要する経費に充てるため。																																																	
・ 義務教育施設整備基金	9,259	11,719	義務教育施設の整備のため。																																																	
・ 産業振興基金	729	729	区内産業の振興に要する資金に充てるため。																																																	
・ 公共施設等整備基金	6,119	6,132	区の公共用又は公用施設の整備等に要する資金に充てるため。																																																	
・ 健康・福祉基金	190	190	区民の健康と福祉の増進に要する資金に充てるため。																																																	
・ スポーツ振興基金	86	99	スポーツの振興に資する資金に充てるため。																																																	
・ 芸術文化振興基金	95	98	芸術文化の振興に資する資金に充てるため。																																																	
・ 介護保険給付準備基金	1,775	1,948	介護保険法に規定する計画期間における財政の均衡を保つ。																																																	
合計（単位：百万円）	45,137	47,871	（3年度末/4年度末/設置目的）																																																	
経過	○平成18年度 基金の統廃合等を実施 ・施設建設、代替地取得、街づくり、緑地整備の各基金を統廃合し、公共施設等整備基金を設置 ・社会福祉基金を果実運用型から取崩型の健康・福祉基金に見直し ○平成20年度 介護従事者処遇改善臨時特例基金を新設（平成23年度までの時限設置） ○平成23年度 介護従事者処遇改善臨時特例基金を廃止 ○平成26年度 スポーツ振興基金を設置 ○平成28年度 芸術文化振興基金を設置																																																			
必要性	年度間の財源調整や、特定目的のための資金需要に対応するために必要である。																																																			
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）																																																			
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明																																												
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み	目標値 (8年度)																																													
	①	基金残高（単位：億円）		432	451	479	448	448																																												
	②																																																			
③																																																				
事務事業の分類			分類についての説明・意見等																																																	
5年度		6年度																																																		
継続		継続		今後想定される公共施設等の改築需要への対応のため、特に義務教育施設整備基金と公共施設等整備基金については、積極的な積立を行っていく必要がある。																																																

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	2,983,099	3,085,252	3,294,978	2,967,498	1,966,246	2,956,783	2,065,097	
決算額(5年度は見込み)	2,942,144	3,070,232	3,280,064	2,962,689	1,948,505	2,921,021	2,065,097	
実績の推移	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	積立額の推移(単位：百万円)	2,942	3,070	3,280	2,963	1,949	2,921	2,065
	取崩額の推移(単位：百万円)	421	95	738	482	61	187	5,132
	基金残高(単位：百万円)	35,250	38,226	40,768	43,249	45,137	47,871	44,804

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
積立金	財政調整基金	581,819	積立金	財政調整基金	17,924	積立金	財政調整基金	18,930
積立金	特別区債等管理基金	3,796	積立金	特別区債等管理基金	3,489	積立金	特別区債等管理基金	4,065
積立金	災害対策基金	51,306	積立金	災害対策基金	51,238	積立金	災害対策基金	51,500
積立金	義務教育施設整備基金	703,725	積立金	義務教育施設整備基金	2,459,865	積立金	義務教育施設整備基金	711,538
積立金	産業振興基金	671	積立金	産業振興基金	616	積立金	産業振興基金	719
積立金	公共施設等整備基金	5,631	積立金	公共施設等整備基金	13,176	積立金	公共施設等整備基金	1,266,040
積立金	健康・福祉基金	175	積立金	健康・福祉基金	161	積立金	健康・福祉基金	187

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	給与関係費	547	535	▲12	地方税等	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	29	26	▲3	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲576	▲561	15	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	39,740	37,909	▲1,831	
	行政費用合計(b)	576	561	▲15	通常収支差額(c)+(d)=(e)	39,164	37,348	▲1,816	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	39,164	37,348	▲1,816	

備考 行政費用では、給与関係費が主な費用となっている。また、金融収支差額は基金積立金利子収入である。

問題点・課題
 ・老朽化した公共施設の更新や義務教育施設の建替え需要等の今後の多額の資金需要に対応するため、財政フレームでの財政収支の見通しを踏まえ、事業実施や施設建設の優先順位をつけるとともに、基金の計画的な積立て・活用を図る必要がある。
 ・特別区税や財政調整交付金等の歳入は堅調に推移しているが、物価高騰の長期化など、区政をとりまく状況が不安定な中においては、中長期的な視点から今後の財政需要を見極めた上で、適正な基金残高を確保していく必要がある。

問題点・課題の改善策			
	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	今後の改築需要への対応のため、義務教育施設整備基金等の特定目的基金を中心に積立てを行っていく。	今後の改築需要への対応のため、義務教育施設整備基金に積立てを行った。	今後の改築需要への対応のため、義務教育施設整備基金及び公共施設等整備基金に当初予算から積立額を措置した。
②			
③			
他区の実況	(実施) 22 区	未実施 0 区	不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成23年1定 平成27年度 9月会議 平成29年度11月会議 平成30年度 6月会議 令和 2年度 6月会議	基金残高の適正規模と確保策について 荒川区芸術文化振興基金の創設について 基金等を活用した中長期的な行財政運営について 公共施設更新のための基金積立てについて 財政調整基金の活用について	